

# 那珂市議会 原子力安全対策常任委員会記録

開催日時 令和8年3月16日（月）午前10時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 渡邊 勝巳 副委員長 花島 進  
委員 木野 広宣 委員 寺門 厚  
委員 寺門 勲 委員 榊原 一和

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 大和田和男 事務局長 会沢 義範  
次長 萩野谷智通 次長補佐 岡本奈織美

会議に付した事件

(1) 委員会の今後の進め方について

…今期委員会について協議

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前10時00分）

委員長 皆さんおはようございます。

今日はちょっと肌寒い感じがしますが、最近、めっきり春めいてまいりまして、桜のつぼみもちょっと大きくなっていたような感じがいたします。

またこれだけ暖かくなってくると、花粉が随分飛んでいるようでして、花粉症の方はなかなか厳しい季節が続いているのかと思います。体調には十分ご留意させていただければと思います。

開会前にご連絡いたします。

本日は、換気のため廊下側のドアを開放して、常任委員会を行います。ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。会議は公開しており、傍聴可能としております。また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送いたします。

会議内での発言は、必ずマイクを使用し、質疑答弁の際は簡潔かつ明瞭にお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は電源をお切りになるか、マナーモードにするなどのご配慮をお願いいたします。

ただいまの出席委員は、6名でございます。定足数に達しておりますので、これより原子力安全対策常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めましておはようございます。

本日は新メンバーによる原子力安全対策常任委員会にご参集賜りまして誠にありがとう

ございます。

今日は執行部や事業所による報告案件はございませんが、これから2年間はね、東海第二の再稼働などなどいろいろな報告や、協議することがたくさん出てくるかなと思います。

渡邊新委員長のもと議論をしっかり深めていただきたい、進めていただきたいと思います。

簡単ではございますがご挨拶にかえさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

本日の本委員会の会議事件は、サイドブックス掲載の次第とおりでございます。

これより議事に入ります。

1、委員会の今後の進め方を議題といたします。

初めに例年でございますが、5月に原子力事業所4社から、年間の事業計画を説明していただく予定となっております。

その後、その前後もあるかと思うんですが、委員会をどのように進めていくか、皆様方のご意見を伺いたいと思います。

寺門勲委員 これまで様々な方からいろんなご意見等聴く会を実施してきたかと思います。そういう会を今後やるのかも含めて協議していく必要があるのではないかと私は考えておりますので、ほかの委員の皆様方のご意見も伺いながら、慎重に対応していければなと思っています。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

寺門勲委員のほうから、意見を聴く会を引き続き実施したらいいかというようなお話がありました。

ほかに何かございますか。

榊原委員 今回ちょっと私自身も原子力安全対策常任委員会ということで初めてです。2年間、原子力いろいろ研修とかも受けさせていただいたんですけども、やはりいろんな意味でこの委員会のやっぱり知識っていうのが、私自身すごく無知なところがやっぱり物すごく多いんですね。

教育厚生とか、例えば産業建設とかってなると一般市民としてやっぱり非常に密接したところがあるんですけどもどうしても原子力ってなると何か無知なところが多いもんだからそういうところも含めてちょっと勉強も併せ掛け合わせた形で、もちろん寺門勲委員のおっしゃるところも併せてやっていけたらなっていうふうには思います。自分自身がとにかく勉強したいということです。

以上です。

委員長 ありがとうございます。引き続き勉強会、例年勉強会のほうは開催しておりますので、

それを引き続き開催するという意見だったというふうに思っております。

寺門厚委員 私も原子力安全対策委員会は初めてですけれども、当委員会のやっぱり重要な仕事としては、東海第二原発の安全対策の進捗、現状ですね、これはきちっと確認をしていく必要があると思いますんで、最低でも1回は現場を確認する必要があると思います。

それと、県の原子力安全対策課についても、やはり、広域避難計画も含めて、現状どうなっているのか、今後どういうふうにしていくのかっていうところは、意見交換をぜひ図っていききたいなというふうに思ってます。

それと、もう一つ、県については広域避難計画、いずれにしても、当市についてもまだ計画途中でございますので、まず重要なところで避難先が決まってないということも、これは重点的にちょっと確認をしていく必要があるというふうに思います。

それから市内の市民に対してですけれども、いろいろ語ろう会は進めていく必要があろうかと思えます。

特に避難行動要支援者については、福祉関係、医療関係含めて、まだ、進捗状況が分かってないといえますか、進んでない状況がありますので、この辺も、語ろう会の中でですね、その避難計画とか、広域避難についてですね、広く、語らいの場を設けたほうがいいかなという気がしております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

東海第二原発の確認ということでした、例年確認に行ったとき、昨年行かなかったかでしたかね、東海第二は。やはり東海第二の確認は、この委員会としては当然確認するべきだと思っておりますし、さらにちょっと気になるのが福島第一のほう、こちらのほうもちょっと気になっているところですので、この辺を含めてという話かと思えます。

また広域避難計画、市で今策定中ということでした、こちらの話もありましたので、こちらを併せて県、市ともに話を聞いていきたいというふうに思っております。というご意見でした。

ほかにございますか。

木野委員 確かに今回、委員長副委員長以外は皆さん初めての委員会ですね、今回。

そうなんですよ、意外と皆さんやっているような感じで、昔やりましたけれども4名がということになりますので、さっき寺門厚委員からありましたけれども、ぜひ現場を一度見てみたいなっていう部分があります。

また、今までずっとやっぱりされてきたと思ったのが、花島副委員長いつもご尽力いただいて勉強会をやっていただいていたので、その勉強会もこの2年間で東海第二原発を含めて、また、いろいろと議論をしていききたいなと思っておりますので、それも併せてお願いしたいと思えます。よろしく申し上げます。

委員長 ありがとうございます。

現場と、あとは勉強会というご意見を頂きました。副委員長何かございますか。

副委員長 皆さんの意見でぶつかるものないので、全て入れた活動を2年間でやると思っていますので、私も賛成です、皆さんの意見。

以上です。

寺門厚委員 福島第一も当然視察が必要だと思いますので、併せて例えば檜葉町とか、周辺の被災された自治体との意見交換といいますか、そっちのほうの視察も、できればいいなというふうに思っています。檜葉町は特に同じ委員会が多分あると思いますので、そちらの活動もどういうふうにされてるのか、大変参考になると思いますのでぜひ伺ってみたいというふうに思っています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ほかにご意見ございますか。おおむね出尽くしましたか。ありがとうございます。

今頂きましたご意見なんですけども、やはり市民の方々から意見を聴く機会を設けたらよいかという話ございました。

また例年行っておりますけども、勉強会、こちらのほうで改めて知識を、知識は幾らあっても構いませんので、どんどん勉強会はやる必要があるというふうに思っております。

あとこの原子力安全対策常任委員会という位置づけから考えますと、東海第二の現状とか、あとは私のほうで申しあげましたけど、福島第一、こちらのほうの復興がどのようになっているのか、あとは廃炉作業がどうなっているのかっていうのもちょっと気になる場所ですので、この辺も含めて毎年のように行ってもいいかと思うんですよね。今現状がどうなっているんだというのを確認するべきだというふうに思っております。

それとあとは避難計画ですね、避難計画につきましても、市の防災課の今の現状、進捗状況、それとあと県の原子力安全対策課の話もありましたので、こちらのほうもちょっと聞く機会をつくるのもありだと思っております。

あと福島第一に行ったとき、ちょっと可能かどうかこれ事務局にお願いするようになると思うんですけども、檜葉町等のほうのお話ができるかどうか、これは事務局のほうでちょっとご尽力頂くような形になるかと思えます。

あとは例年ですと、サイドブックスにもう1枚資料があるかと思えます。こちらをご覧頂きたいんですけども、当委員会で視察を行った場所、それとあとは意見を聴く会、議員と語ろう会であったときの、テーマと出席された方々の一覧表にまとめたものとなっております。

視察といいましてもどうしても原子力発電所といいますと、近場にはなかなかございませんので、遠方になってるところが多いんですけども、ここのところは再稼働をしているところ、行って、避難計画とかあとは再稼働についてのいろいろなご意見等を聞いているところがございます。

現在再検討中の原子力発電所といいますと、九州地方ですと、川内原発と現玄海原発、四国地方ですと伊方原発、あと関西地方ですと高浜と大飯原発。あと中国地方で島根原発、東北地方で女川原発、あとは、先日再稼働するところだったんですけども、新潟県の柏崎刈羽原発が今一時止まっているというような形になっております。

こちらの表を見ていただくとあれなんですけども、女川原発と大飯原発というのは、ここ2年のところで行ってきて、視察をしていろいろなご意見を頂いているところです。というところもございまして、今後視察先についてもご協議をしていきたいなと思っております。こちらのほうにつきましては正副委員長でちょっとご協議のほうをさせていただきたいと思っております。

副委員長 どうか見たいとこ皆さん意見あれば、この場じゃなくても、言っていただければ。

寺門勲委員 これまで新人研修ということで、一度東海第二は、視察させていただきましたが、それ以外の施設はまだ視察したことがないということで、ぜひいろんなところで勉強させてもらいたい。また再稼働が始まったところなども含めて、検討していただければと考えてますんで、委員長、副委員長よろしく願いいたします。

委員長 分かりました。

ただいま視察で勉強していきたいというご意見がございましたので、行き先につきましては特に、今ここがというのがありますか。

榊原委員 載っちゃっているんですが、ただどうしてもやっぱり原子力発電所っていう形になっちゃうと思うんですね。今寺門勲委員も言われたんですけど、東海第二と福島第一原発は見させていただいたっていう流れでいうと、私が1番興味、今この中であるのはやっぱり六ヶ所村です。ただその何年か前に行っちゃってるっていうのもあるんですけども、我々は正直言ってこれメンバー変わっちゃってね、見てないわけですから、そういう意味で言えば行く価値は非常に僕は高いのかなっていうふうには思ったりもしますけどね。

以上でございまして。

委員長 ありがとうございます。

ただいま榊原委員のほうから六ヶ所村のお話がありました。ほかに何かご希望するとか考えているところではございましてか。

榊原委員のほうから六ヶ所村という話がありましたので、六ヶ所村と、もしくはあとは再稼働しているところあたりで、受入れていただけたところをちょっと模索いたしまして、事務局のほうと相談をし、決定していきたいなと思っております。

ではもう一つの視察のほうなんですけど先ほどちょっと申し上げましたが、東海第二、それと福島第一につきましては、毎年行ってもいいかと思っておりますので、こちらについては現地を確認するということと、あと現地の状況を確認するというのも含めまして、視察先として考えていきたいというふうに思っております。

あとは勉強会の話がございました。勉強会は、昨年も2回、開催させていただきました。

それです、この常任委員会のメンバーだけではなく、議員全員を対象とした勉強会としてやらさせていただきましたので、今年度も同じような形で。講師の方に選出につきましては、私と副委員長で案を出させていただきたいと思います。

あともう1点なんですけども広域避難計画について、市の防災課と、県の原子力安全対策課という話がありました。

こちらにつきまして逐一どういう状況になってるかというのは、市から報告を頂く必要がありますので、ちょっとどういう形になるかはあれですけども、状況を確認しながら、報告を頂くような機会を設けていきたいなというふうに思います。

県の原子力安全対策課につきましてちょっと事務局を通して、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

あとは市民の方々からのご意見を聴くことなんですけども、これについても素案のほうは、正副委員長のほうで決定させていただいてよろしいですか。

榊原委員 議員と語ろう会ってのはちょっと置いといて意見を聴く会っていう論点でいうと、過去にやったものが全てこれ那珂市の団体の方っていうところなんですよ。我々ちょっと那珂市議会ですからもちろんこれ那珂市民の方に聴くっていうのが大前提なんだけど、これ東海第一、第二を抱えている東海村民の方の聞くことってできないですか。

逆に言ったら地元の方に僕、意見聞きたいんですよ。多分いろんな意味踏まえてやっぱり、これ賛成とか反対とかじゃなくてね、どういうふうにやっぱり思ってるのかというところが那珂市と東海村の住んでる方って多分、考え方はいささか違うんじゃないかなって思ってるんで、ちょっとそういうところも加味してもらえると勉強になるかなと思ってます。

以上です。

寺門勲委員 榊原委員のちょっと意見に対して、ちょっと私も意見述べさせてもらいたいんですけども、今村民からの意見っていうこともありました、東海村議会の方々との意見交換何かどうかなって思ったりもしてます。そういった形で、ほかの市町村の意見も聞くのも確かに必要かなと思っております。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

ちょっとすみません。東海村民という形で限定するのはなかなか難しいのかなと思います。例えば広く公募して、不特定多数の方が近隣の方々でっていうようなあれだったら、まだ可能性はあるかと思うんですが、なかなかそこはちょっと、あれなので、ただ東海村議会との協議につきましては、これは可能だと思いますので、ちょっと事務局のほうと、調整とかあとは申入れをさせていただきまして、協議を進めるような形をとりたいと思います。前段としましては、まず議会からですかね。

あとの意見を聴く会議員と語ろう会につきまして何かほかにご意見、ご提案等ございますか。

副委員長 今までいろんな会やってる中で最近やってるのは、那珂市民に限ったり、市民の市内の団体とやってたんですよ。ただ、その他、先ほど東海村がありました、東海村に限らず周辺の市民の方の意見も大事なと思います。というのは、こういう原子力問題を特別扱う委員会を議会で持っているのは東海村と我々だけなんですよ。本当にここは変わってるんです。そういう点でね、この議会という公の場に意見を出せる機会っていうのは、東海村と那珂市以外はほとんどないんですよ。申入れとか陳情とかやるだけ。ですから、先ほど榊原委員の意見があったように、東海村もですけど、その他の自治体も広く呼びかけて、確かに大勢来てどうなるか分からないんですけど、それはもう過去の例でやったらいいかなと思ってます。

以上です。

あと早めに通知しないとね、いついつやりますっていうのは、以上。

委員長 ありがとうございます。

ちょっとこの内容につきましては事務局のほうと協議をしまして、どの程度までできるのか、どういうやり方が可能かというのをちょっと決めていきたいと思います。あとは同じに関連するかもしれないけど先ほど寺門勲委員からありましたように、東海村の議会とのというお話ありました。と考えると近隣の議会と話すのも、ありなのかもしれませんので、ちょっとその辺も事務局を通して、協議してみたいなというふうに思っております。

おおむね例年行っているような内容についてのご意見は頂きました。またこれ以外に何か提案とかございますか。

寺門厚委員 前委員会からの何かこれだけはっていうようなお話は、引継ぎ事項は何かありませんでしたか。

委員長 特にはございません。

寺門厚委員 分かりました。

委員長 ではよろしいですか。

意見がないようですので、それで先ほど出ていました意見のほう求めまして、今年度、進めていくような方法を考えていきたいというふうに思いますので、あと正副委員長で内容をちょっと精査いたしまして、案をお示ししたいというふうに思っております。

本日の議題は全部終了いたしました。

以上で原子力安全対策常任委員会を閉会したいと思います。

皆様どうもご苦労さまでした。

閉会（午前10時24分）

令和8年3月19日

那珂市議会 原子力安全対策常任委員会委員長 渡邊 勝巳